

平成29年11月27日

「文化情報プラットフォーム」の新たな機能等について ～一般の文化イベントも登録可能に～

文化庁は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に文化芸術立国の実現を図るため、全国の文化プログラム等の情報を一元的に集約・管理し、オープンデータとして発信する「文化情報プラットフォーム」を本年5月から試行的に構築・運用しています。

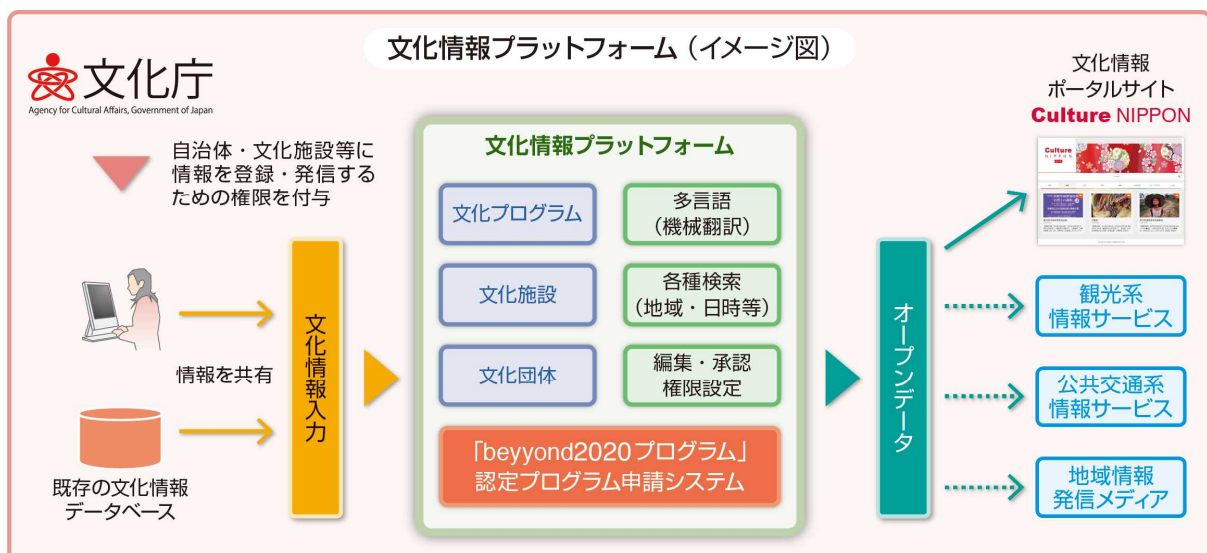
この度、システム改修等を行い、以下の内容につき、新たな機能強化等を行いましたので、お知らせします。

1. 「文化情報プラットフォーム」の概要

「文化情報プラットフォーム」とは、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に文化芸術立国実現を図るため、全国の文化プログラム等の情報を、関係省庁、地方自治体、文化団体、民間企業、イベント主催者等から広く収集し、オンライン上で一元的に管理・集約して、誰でも利用できる情報として発信するための取組です。

本年5月から試行的に運用を開始し、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会や内閣官房・東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局との連携協力により、東京2020大会に向けた文化プログラム（東京2020文化オリンピックアード、beyond2020プログラム等）を中心に、展覧会や公演、ワークショップ、シンポジウム、お祭りなどのイベント情報が登録されています。

文化庁では、これらの情報をもとに、文化プログラム総合ポータルサイト「Culture NIPPON」の構築・運用に取り組むとともに、一般にも広く活用いただけるよう、オープンデータ化に向けた取組も進めています。



2. 新たな機能等について

この度、大幅にシステム改修を行い、以下の機能を新たに備えることになりましたのでお知らせします。なお、今後もさらなる機能強化のため、随時、システム改修を行う予定です。

(1) 一般の文化イベントの情報が登録可能に

これまで「beyond2020 プログラム」の申請受付のみを行っていましたが、一般の文化イベントの情報も登録することができるようになりました。

(2) 「beyond2020 プログラム」の申請・認証プロセスがオンライン上で可能に

これまで「beyond2020 プログラム」の申請・認証プロセスはメール等で行っていましたが、オンライン上での申請・認証ができるようになりました。

(3) 文化プログラム総合ポータルサイト「Culture NIPPON」リニューアル

より使いやすいサイトにするとともに、機械翻訳により、4か国語対応（英語、フランス語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語）を行います。

(4) オープンデータの活用実験開始

文化情報プラットフォームに登録された情報は、オープンデータとして誰でも活用できるように発信することを目指しています。これまでに「beyond2020 プログラム」の認証機関でもある新潟市と連携の上、アーツカウンシル新潟のホームページ（<https://artscouncil-niigata.jp>）において、試行的にシステム連携の実験を行ってきましたが、今後は民間企業等のホームページとのシステム連携の実証実験を開始し、来年度には本格的にオープンデータ化を目指します。

3. 公開シンポジウムの開催

「文化情報プラットフォーム」の普及等を目的に、以下のとおり、公開シンポジウムを開催します。取材申込み等は文化庁担当までお問い合わせください。

名称：2017 TRON Symposium TRON シンポジウム -TRONSHOW-

「文化庁特別セッション：文化情報プラットフォームシンポジウム」

日時：平成 29 年 12 月 15 日（金）13：00～14：30



場所：東京ミッドタウン ホール シアター 1（東京都港区赤坂 9-7-1）

出演者：青柳 正規（東京大学名誉教授、前文化庁長官）

坂村 健（東洋大学情報連携学部 INIAD 学部長）

参加申込：<https://www.tron.org/tronshow/2017/regist/schedule/?lang=ja#13>

《参考：文化プログラムの認証事業の枠組》

東京2020大会に向けた文化プログラムの枠組			
	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会		文化を通じた機運醸成策に関する関係府省庁等連絡・連携会議
プログラム	東京2020文化オリンピックアード <div> <div>東京2020公認文化オリンピックアード</div> <div>東京2020応援文化オリンピックアード</div> </div>		beyond2020 プログラム
概要	「オリンピック憲章」 に基づいて行われる公式文化プログラム 東京大会の主なステークホルダー等が大会ビジョンの実現に相応しい文化芸術性の高い事業を実施	「オリンピック憲章」 に基づいて行われる公式文化プログラム 非営利団体等がオリンピック・パラリンピックムーブメントを裾野まで広げる事業を実施。	2020年以降を見据え、レガシー創出に資する文化プログラム 営利・非営利を問わず多様な団体が実施。 ※オリンピック・パラリンピックの文言使用は不可
実施主体	組織委員会、国、開催都市、会場所在地地方公共団体、公式スポンサー、JOC、JPC	会場所在地以外の地方公共団体、独立行政法人を含む非営利団体	文化オリンピックアードの実施主体に加えて、公式スポンサー以外の企業も対象
ロゴマーク			

＜担当＞

文化庁長官官房政策課文化プログラム推進室

担当者：高田，堀口，内藤（内線 3108）

電 話：03-5253-4111（代表）

beyond2020プログラム「認証事業例」

日本全国から、さまざまな文化イベントを認証しています。



まちごと美術館ことごと

主催：株式会社バウハウス(新潟市)

開催地：新潟県内

障がい者アートのレンタルを通じて、まちを彩りながら、障がい者の社会的自立を創造する事業。新潟県内22店舗のモスバーガーでの「MOSごと美術館」、JR新潟駅での「エキゴト美術館」のほか、市内のカフェ・レストラン・銀行・観光案内所・スーパー銭湯・バス停・幼稚園・小学校などで展開しています。



阿波おどり

主催：徳島市観光協会、徳島新聞社

期間：2017年8月12日～2017年8月15日

開催地：徳島市内各地

日本を代表する伝統芸能として、海外からも招待される「阿波おどり」。徳島県内各地で行われ、中でも毎年8月12日～15日の「徳島市の阿波おどり」は、120万人を超える人出で街中が踊り一色に染まります。車いす席、外国人専用席を備えた演舞場もあり、総合案内所には通訳を配置しました。



撮影：堀切 功

ニッポンたからものプロジェクト

主催：文化庁、芸団協 期間：2017年7月～11月

開催地：京都府、福井県、富山県、広島県、島根県

「日本遺産」に認定されている地域の伝統建築等を舞台に、次代を担う若手実演家や地域芸能団体等による実演芸術(Live Art)公演を実施。2017年度は、福井県小浜市の旭座、富山県高岡市の瑞龍寺などの5地域において、外国人タレントらが「旅人(進行役)」となって、実演を新たな切り口で紹介し、これまで気づかなかった魅力を親しみやすく発信するプロジェクトを展開しました。



北のまんが大賞

主催：北海道

期間：2017年6月7日

～2018年3月31日

新たな才能を発掘する漫画公募コンテスト「北のまんが大賞」

では、北の大地の魅力を伝える作品を広く募集。

選考には漫画家や道内出版社に加え、今年度から在京大手出版社の漫画編集部も参加し、デビューへのきっかけを掴む機会を創出するため、受賞作品はホームページ等で公表するほか、あらすじを英語で紹介します。



フライデー・ナイト・ミュージアム@上野

主催：文化庁ほか 期間：2017年2月～3月

開催地：東京都台東区(上野)

上野の国立ミュージアムの夜間開館と連動したアートプロジェクトを実施。オープニングはプレミアムフライデーの初日にあわせ、国立西洋美術館でコンサート、国立科学博物館でヨガ体験、東京国立博物館で映画上映や食イベントを実施するなど、ビジネスパーソンや外国人の方にも来場いただけるよう、夜のミュージアムの新たな楽しみ方を開拓・提供しました。



小松伝統芸能祭

主催：小松市

期間：2017年11月18日～2017年11月19日

開催地：石川県こまつ芸術劇場うらら歌舞伎や邦楽、日本舞踊など、「歌舞伎のまち小松」の伝統芸能が一堂に会し、日頃の成果を披露。今年は、ユネスコ無形遺産・沖縄「組踊」の特別鑑賞会を同時開催。初めて伝統芸能を観る方、外国人にも分かりやすく紹介するとともに、会場には、車椅子席等を完備しました。

■ beyond2020プログラム よくあるご質問 ■

Q1 参加者から参加料をとるイベントでも申請することはできますか。

A1 参加料の有無は問いません。営利を目的とする事業においても申請していただけます。

Q2 規模の小さな事業でも申請できますか。

A2 事業の規模は問いません。認証の要件に沿った取り組み内容の事業であれば規模の大小を問わず申請していただけます。

Q3 申請してから認証されるまでどれくらいの期間がかかりますか。

A3 申請の受理件数により、期間は変動いたします。ロゴマークを必要とする期日までに2週間以上の余裕をもって申請していただけるようお願いいたします。

Q4 音楽やアートは言語の壁を取り除く取組として認証されますか。

A4 音楽やアートそのものだけでは認証できません。日本文化を伝えるための外国語対応に関わる一歩進んだ具体的な取り組みが必要です。

■ beyond2020プログラム お問い合わせ ■

文化庁beyond2020プログラム事務局

Tel.03-5657-0684 Email:bunkacho@beyond2020program.jp

受付時間 10:00～17:00(土・日・祝・年末年始を除く)



文化庁ホームページ <http://www.bunka.go.jp>

文化庁長官官房政策課文化プログラム推進室 TEL:03-5253-4111(代表)

日本文化の魅力を発信!

文化情報プラットフォームに登録して、あなたの文化イベントを国内外に

文化情報プラットフォームの利用方法

▼アクセスはこちら！

<http://culture-nippon.go.jp>

カルチャーニッポン 検索



文化プログラム(イベント)の登録はこちらのバナーをクリック!

beyond2020プログラムの申請はこのバナーから!



Step-1

ユーザー登録

Step-2

団体登録

Step-3

beyond2020プログラム 申請

Step-4

文化イベント登録



国内外に情報発信!

文化イベント情報登録のみの方はこのバナーから!



Step-1

ユーザー登録

Step-2

団体登録

Step-3

文化イベント登録

※beyond2020プログラム申請と文化イベント登録は、別々のユーザー登録が必要です。

※Step1～Step2は、初回のみ登録が必要です。

TOPページのイメージ



文化情報プラットフォームとは

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、全国各地の文化プログラム(イベント)や文化施設等の情報を広く収集し、インターネット上で管理・集約して、誰でも利用できる情報として発信するための取組です。この情報を基に文化庁は、文化プログラム総合ポータルサイト「Culture NIPPON」を構築・運用しています。

文化情報プラットフォーム登録のメリット！

①“Culture NIPPON”へ掲載、国内外に発信

文化庁が運営する文化情報ポータルサイト“Culture NIPPON”に掲載でき、広く国内外に情報発信が行えます。

②beyond2020プログラム申請が簡単に

インターネット経由による電子申請サービスで、「beyond2020プログラム」の認証手続きが、より簡単でスムーズに行えます。

③多言語で発信

日本語で入力するだけで、機械翻訳による多言語(英語・中国語・韓国語・フランス語)対応が可能です。

④随時編集が可能

登録いただいたイベント情報等の修正や追加など随時編集が可能です。

⑤オープンデータとして、広く公開・提供

将来的には、民間事業者等が、登録されたデータを活用して、さまざまなサービスを展開することを目指しています。

■ 登録できる文化関連情報 ■

beyond2020プログラムや東京2020公認文化オリンピック・東京2020応援文化オリンピックなどの認証が必要な文化情報のみならず、あらゆる文化プログラムが登録でき、あなたの文化情報をCulture NIPPONから発信が可能です。

主な文化プログラム(イベント)の具体的な事例

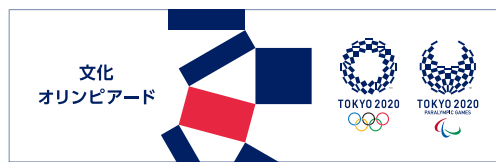
- 美術館・博物館で行われる展覧会情報
- 劇場・音楽堂で行われる公演情報
- マンガ・アニメ、映画、映像関連のイベント情報
- 祭り、花火大会など四季折々の生活文化情報
- 芸術祭・文化祭などのイベント情報
- 日本食博覧会などのグルメ情報
- デザイン・ファッションなどの展覧会情報
- その他日本文化を発信する様々な取組

〈主な文化プログラム認証制度〉

beyond2020プログラム
国、都道府県、政令市等が認証



東京2020公認・応援文化オリンピック
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が認証



公認文化オリンピック



応援文化オリンピック

※東京2020文化オリンピックについては、Culture NIPPONのサイトからは申請できません。
右記サイトをご参照ください。 東京2020参加プログラム <https://participation.tokyo2020.jp/>

beyond2020プログラムとは

2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化プログラムを『beyond2020プログラム』として認証し、日本全国に展開します。

日本文化の魅力を発信するとともに、共生社会、国際化に繋がるレガシーを創出します。

営利活動、非営利活動に関わらず、文化に関わる幅広い活動を対象とします。

公的機関のほか、民間事業者、その他任意団体等幅広い方に参画いただけます。

beyond2020プログラムの認証要件

日本文化の魅力を発信する事業・活動であること

■日本文化とは、以下のような多様なものを含みます。

伝統的な芸術、現代舞台芸術

最先端技術を用いた各種アート、デザイン

クールジャパンとして世界中が注目するコンテンツ、メディア芸術

ファッション

和食・日本酒その他の食文化

祭り、伝統的工芸品、和装

花、木材・石材・畳等を活用した日本らしい建築

多様性・国際性に配慮した、以下のいずれかを
含んだ事業・活動であること

■障害者にとってのバリアを取り除く取組 (具体例)

車いす専用席等があるバリアフリー対応の会場を
選ぶ等の工夫がある催事

視覚障害の方でも楽しんでいただけるように
点字の解説がある展覧会

聴覚障害の方でも参加できるように
手話通訳を配置したイベント など

+

■外国人にとっての言語の壁を取り除く取組 (具体例)

外国語が話せる案内スタッフを配置したシンポジウム

英語が併記されたチラシや
外国語対応のHPによる情報発信をしているお祭り

タブレットによる多言語解説がある伝統芸能 など

認証

認証を受けた事業・活動は
beyond2020プログラムロゴマークを
使用することができます。



■ ロゴマークについて ■

beyond2020プログラムロゴマークのデザインは、「いいね」や「グッド」などの賛同のジェスチャーをモチーフにしています。加えて、beyondの「b」や、日本を象徴する「わ」とも読み取れます。日本の文化を共に継承し、引き継いでいきたい、との願いを込めて、2020年を新たな発展へのステップとしてシンボライズしたロゴマークです。